

投資事業評価調書(新規)

部課室名	農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 板井 丈夫 (盛 健二)	内線	4003 (4014)
------	-------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	農業用排水	事業名	事業区間	総事業費	約1億円
		県営土地改良総合整備事業 (担い手支援型)	氷上北 地区	内用地補償費	0.02 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
氷上郡氷上町北御油	H 1 5	H 1 5	H 1 6

事業の目的	事業内容
区画整理実施済みの当地区において、農作業における水管理の省力化を促進するため用水路のパイプライン化を行う。また併せて暗渠排水を行うことで、農産物の増収を図り、担い手(集落営農組合)の更なる農業経営の安定化を図る。	受益面積 24.6ha ・用水路工 L=2.7km ・暗渠排水工 A=11.9ha (国 50% 県 27.5% 町 10% 地元 12.5%)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	当地区では、昭和58年に設立された北御油営農組合を中心に水稲のほか黒大豆、小麦等を生産しているが、ほ場整備完了後25年以上が経過し、用水施設の老朽化に伴う水管理が多大な労働力の負担となっている。 また、地区内の一部のほ場では湿田化の影響で、大豆、小麦等の収量が低下している。 このため、受益者及び町の強い要望を受け、早急に事業を実施し、用水路のパイプライン化による水管理の省力化及び暗渠排水による農地の乾田化を図り、担い手(集落営農組合)への効率的な営農支援を行っていく必要がある。
(2)有効性・効率性	投資効率1.17、所得償還率36.7%であり事業としての効果が期待できる。 同意率100%
(3)環境適合性	パイプラインの埋戻材等については再生砕石等を用いる。 パイプライン排泥工放流部の排水路をホタル等の生息環境に配慮した工法で整備する。
(4)優先性	当地区の近接で、平成18年の開通に向けて工事中である北近畿豊岡自動車道(春日・和田山区間)の側道に、当地区のパイプラインを埋設する計画であるが、側道部の舗装工事が平成16年度に実施されるため、パイプライン工事を平成15年度に完了する必要がある。 上記道路の開通により、集落営農組合で実施している枝豆(黒豆)狩りや、町内の直売施設への農産物供給も増えることが期待できるため、当事業により安定した生産体制を整える必要がある。